

令和7年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	○生徒の多様な進路希望や興味・関心に応じた教育課程の改善を進める。 ○基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成及び主体的に学習に取り組む態度の養成を目指した授業改善を進める。	①生徒の実態を把握しながら課題となる資質・能力を明確にし、その課題を解決できるように教育課程を改善していく。 ②主体的・対話的な深い学びができるように、授業におけるICT活用(電子黒板、一人1台タブレット端末)を進める。	①教科代表者会議などで各教科と連絡を密にしながら、より良い教育課程に改善する。 ②主体的・対話的な深い学びができるように授業におけるICT活用をテーマにして授業研究や授業互見を今年度2回実施する。	①課題を解決できるような教育課程の改善が行えたか。 ②研究授業、授業互見等の授業研究をとおして、授業改善が進んだか。また、その結果として、生徒による授業評価の「主体的・対話的な深い学び」に関する質問項目に、高い評価を付けた生徒の割合が7割を超えたか。
2	(幼児・ 児童) 生徒指導・ 支援	○生徒一人ひとりの支援を組織的に行っていく。 ○生徒を主体とした学校行事や生徒会活動を推進し、部活動を通して自己肯定感や責任感及び連帯感の涵養を図る。	①生徒一人ひとりに合った指導・支援を行う。 ①日常のルールを守り、モラルがある人を育てる指導を行う。 ②学校行事や生徒会活動を、生徒が主体的に企画・運営し、責任感と連帯感をはぐくむ。	①学年・グループ・職種を超えて生徒情報を共有し、生徒一人ひとりにあった適切な支援を行う。 ①生徒支援Gを中心に、学校全体で集会等での講話、Google Classroomの活用、掲示物等を活用し指導・声掛けをする。 ②リーダー育成を目的として学校行事等の企画・運営を支援する。課題等を明確にするため、情報を共有したり、課題を検討したりする場を設定する。また、生徒へのアンケートで活動の検証を進める。	①定期的な情報共有に加え、必要に応じて情報共有やケース会議等を開催し、前年度より支援につなげられたか。 ①事故件数・定期試験ごとの服装点検の件数、遅刻指導等の指導回数を前年度より減らせたか。 ②生徒が組織的、主体的に行事等を企画・運営することができたか。行事や部活への取り組みで、6割以上の生徒が達成感や連帯感を得られたか。
3	進路指導・ 支援	○生徒の自己実現に向けたキャリア教育を実践し、生徒一人ひとりの主体的な進路選択と進路実現を図る。	①生徒一人ひとりがそれぞれの職業観を確立し、将来の自己実現のために主体的な進路選択と進路実現ができるようにしていく。 ②特別募集生徒の進路実現に向けて、教育・福祉・労働など各機関との連携を図っていく。	①企業と連携し職業講座を聞く機会を設定し、生徒の職業観を確立していく。またインターンシップを奨励し、体験を通して自己の適性の認識や進路選択に結びつける。 ①学習到達度テスト・実力診断テスト・実用英語検定を実施し、実力・能力を高める。 ②特別募集生徒の1年生に職業訓練機関の見学、2年生に就業体験学習(インターンシップ)、3年生には企業での就業体験を実施する。	①将来の進路実現に対して前向きな姿勢を持ち、職業観を持たせられたか。また職業について企業や地域と連携した具体的な支援が行えたか。 ①各種テスト、実用英語検定により、生徒の実力・能力を前年度より高められたか。 ②関係各所と連携が図られたか。また特別募集生徒一人ひとりの実態に応じた就業体験学習が実施できたか。

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	○学校の魅力を積極的に発信し、地域に信頼される学校づくりを推進する。 ○地域との協働を推進し、地域の関係機関、企業研究所及び大学と連携した教育を実践する。	①学校説明会を3回実施し、生徒の活動や学校の特色をホームページに掲載することで、地域住民や中学生・保護者への学校理解を促進する。	①学校説明会、部活動体験、文化祭などにおいて、地域住民や中学生・保護者に向けた広報活動を強化し、生徒の主体的な活動や本校の教育活動をわかりやすく伝える。	①学校説明会、部活動体験への参加者数が500名以上となったか。参加者のアンケートの回答内容に肯定的なものが5割以上となったか。
5	学校管理 学校運営	○安心安全な教育環境づくりを推進する。 ○エコの観点から省エネ、省資源の取組みを行う。 ○防災学習の充実と被災時対応の検討を進める。	○校内環境づくり ①省エネ、省資源に向けた実効ある取組みを推進する。 ②防災学習を通じて防災意識の向上を目指す。被災時の対応、協力体制について学習を進める。	○校内清掃の励行、生徒の清掃委員による相互巡査を行う。 ①学校全体で省エネへの取組みを考え実践する。 ①会議以外の部分で更なるペーパーレス化に取り組む。 ②先に防災学習を行うことにより訓練の意義を認識させる。また、アンケート等で防災訓練を検証する。	○清掃委員の巡査の結果を、校内清掃に生かせたか。 ①省エネに対する効果的な取組みの実践例を試行できたか。 ①会議以外で更なるペーパーレス化について、紙の必要性も考えつつ進められたか。 ②防災学習の先行により防災意識を高められたか。避難訓練が滞りなく行動できたか。